

[事業所職員向け]児童発達支援「自己評価」結果

児童発達支援センター 桂堂学園

- 評価実施時期 平成29年12月
- 対 象 療育に関わる職員及び管理者等 計13名
- 評価方法 6分野47チェック項目を「はい」「いいえ」「どちらとも」でチェックし、それぞれに「工夫、課題や改善すべき点など」を記入してもらう
- 集計方法 各チェック項目の○印による評価数から「いいえ」の数の特に多かったチェック項目をピックアップし、本園の今後の課題とした
- 評価結果

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも	課題や改善すべき点など(代表)
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	0	クリアしていると思うが個別の対応には集中して取り組めるスペースが少ない
	②	職員の配置数は適切であるか	8	4	1	活動によってはもっと職員がいたほうがよい
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	10	3	0	個々の特性を理解し興味関心がわいたり、生活の自立を促すように構造化を工夫した。子どもたちやその保護者からの不平不満はなかった。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	11	0	2	活動状況や園児の様子に合わせて活動場所を分けたり、空間の配置を変えんく保できるようにしている。空調や換気等感染防止にも気を付けている。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	6	1	各ホームリーダーや職員の心がまだ同じ方向を向いていないように感じられる。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6	5	1	利用児のことを第一に考えている内容であれば、今後も職員間による話し合いを設けて改善する余地はある。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	4	3	2	評価を求める前に児童発達支援センターの役割及び桂堂学園の方針や方向性は入所前に書面で知らせている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	0	第三者による評価はまだ行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	13	0	0	研修の情報を職員に提供し、参加する機会が十分に与えられている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	0	社会適応の観点を重視し個別課題や発達支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	10	1	1	キッズビューの発達段階が統一された区切りになっているのでわかりやすい。

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されている。	9	0	0	現在ガイドラインに基づいた支援計画を検討中。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	10	1	1	計画を基に日常取り組んでいる。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	0	ホーム内でもケース会を開き、療育部でも会議を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	1	個別課題は週2回のペースで入れているが、週案は製作や運動などバランスをとっている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	0	子どもの発達を基に個別や集団を組み合わせで作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	9	2	1	週ごとに担当を決めている。変更等あった場合は確認している。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	7	4	1	定時に振り返っているが、気づいた点はキッズビュー担当者やリーダーに伝えている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	3	1	月間でまとめて記録していたが、毎日の様子をキッズビューにて記録することにした。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	10	0	0	定期的にホームでのミーティングをこなしている。
	関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	1	1
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	7	0	1	全くないわけではないが、意外に連携する回数が少ない。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子供等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	2	0	1	
㉔		(同上の場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	2	0	1	
㉕		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	1	情報交換は毎年行っているが、今以上に取り組むことが望ましい。
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	2	毎年就学時に関する情報交換会を実施している。

との連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	2	2	連携はしているが、助言・研修はされていない。お互いの対象児の意見交換はある。
	㉑	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	8	1	2	系列保育園との年1～2回の交流を実施。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	4	1	担当職員が参加している。
	㉓	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	0	連絡帳、送迎時など様々な機会に確認している。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	6	1	療育相談(講演会)を行ったが、全部の保護者にペアトレ等の支援はできていない。
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	2	0	契約時に実施している。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの、「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	2	0	面談の時に説明しているし、同意も得ている。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を置くなっているか。	13	0	0	療育相談を定期また随時行っている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか。	11	1	1	外で会食するなど支援している。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	0	まず先にリーダーに報告して対応している。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	0	必要に応じてケータイ連絡で発信している。また学園だよりも毎月発行している。
	㉛	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	13	0	0	情報を外部へは持ち出し禁止としている。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	0	子どもたちにはもちろん、保護者にも理解しやすいように伝達している。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	2	行事の流れが変わったので招待(参加)が難しいものがある。
	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定し	9	2	2	マニュアルがあっても職員が周知していない場合があるため、普段でも閲覧できるようにし、把握できているか確認も必要。

非常時等の対応		た訓練を実施しているか。				
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	2	定期的に行っているが、命を守ることを第一に考えた内容に変えたほうが訓練としてよいと思う。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	0	調査票のほか、ホームの子どもを表にして誰が何を受けたのか確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	0	朝礼で毎日給食係から伝達があり、食堂にもボードを設置し確認できる状態である。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	9	2	2	療育部内でインシデント検討委を設置し、毎月定例会をしている。ヒヤリハット事例集は作成していない。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか。	11	1	0	職員会議の園内研修等で行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に`ゆう分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4	2	学園児で拘束を必要な子はあまりなく、行っていない。